

消防 **団** ネット in 川口

KAWAGUCHI SHOUBOUDAN NEWS

臨時増刊号

平成30年1月31日
第54号

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部
消防団長 金子 利夫
発行所 川口市消防局消防総務課消防団事務局
電話 048-261-8102

団長年頭挨拶

川口市消防団長 金子 利夫

平成30年の輝かしい新春を迎え、団員の皆様方に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

団員の皆様には、常日頃から、地域の安全、安心を守る為、防災の最前線に立って、日夜献身的にご尽力されている事に、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、昨年は、全国各地で台風や集中豪雨で大きな被害を出しました。また、本県三芳町で、鎮火まで長時間を要した、物流倉庫火災など、大規模、広範囲な火災が各地で発生しました。

我々消防団は、常に実戦に近い実働訓練、図上訓練をし、多種多様な災害に対するマニュアルを作り、そしてそれを見直し、訓練を繰り返す事が大変重要であります。

団員の皆様には、本年も、自分自身の健康管理をしっかりと、市民の安全、安心の為、地域防災の要として、任務の遂行にまい進をして頂きたいと思っております。

本年も伝統ある川口市消防団の更なる発展と、団員皆様のご健康、ご健勝をご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



埼玉県消防協会定例表彰式

第1支団第1分団 班長 井口 直也

去る、平成29年10月26日に埼玉会館において埼玉県消防協会定例表彰式が開催されました。

消防団在籍20年を迎えた団員の家族へ家族顕彰が授与されました。

20年間に渡り消防団活動を裏方として支えてくれた家族への表彰です。

対象者は川口市消防団で15名、うち4名の団員の奥様方が参加致しました。

埼玉会館での式典終了後に、消防局の会議室において表彰状と記念品が手渡されました。



全国女性消防団活性化大会

第8支団第1分団 団員 門倉 かつ子

去る、11月15.16.17日と全国大会に参加させていただきました。

今回の大会で印象に残ったのは、秋田県の班長さんの発表でした。

数年前の災害時での、女性団員の役割について報告されました。

やはり女性は男性に比べ体力に差があるので、後方支援になってしまいますが、女性ゆえの気配りなど、川口でももし災害が起こった時何をすれば良いのか、女性の視点でも出来ることはたくさんあると実感しました。

夜に行われた交流会では、自分の出身地のテーブルを見つけ挨拶に伺い話していると、なんと、実家のすぐ近くの団員さんがいました。

多分、小学校、中学校は同じだと思います。

最後の方では、広島の三原踊りという、阿波踊りに似た踊りで参加者全員で盛り上がり、来年の滋賀大会にバトンをわたしました。

今回参加してみて、特別点検の訓練中にもかかわらず、会田支団長はじめ、小川分団長、他八支団の皆様や、3日も家を開けるのに快く送り出してくれた家族に感謝です。

ありがとうございました。

又、金子団長、松本副団長が今年最後ということで、ご一緒できてよかったです。ちょっと早いですが、長い間ご苦労様でした。



支団紹介

8支団の紹介です

第8支団 支団長 会田 正男

第8支団は緑豊かな地区を安行地区を担当しております。第1分団と、第2分団の二つの分団に分かれており、団員36名で活動しております。近年は急激な宅地開発により、大きく人口が増加しております。

毎年9月に安行地区防災訓練に参加し、ポンプ車操法を披露しています。

団本部の、金子団長、松本副団長の出身支団でもあり、消防精神に則り地域の安心安全の為にこれからも活動して参ります。

第8支団第1分団 分団長 小川 勝

第8支団は「植木の里 安行」にかまえています。

第1分団は、団員16名（うち女性2名）で、安行地区でおもに、原・北谷・小山・吉蔵・出羽を担当し地域活動をしており、火災の時は安行地区と新郷地区へ出動します。夏は各町会の盆踊りの警備に出場し、冬は除夜の鐘の手伝いや警備にも出場します。又小中学校の防災訓練や避難訓練にも先生やPTAと協力し合いながら活動しています。AEDの指導員として中学校などで指導しています。現在は一人なので今後は普及員・指導員を増やせればと思っています。

安行地区では毎年9月に「安行はひとつ・みんな仲良く」をスローガンに総合防災訓練が自主防災隊を中心に





開催されております。団員は、各種訓練の安全管理や指導を安行分署の方々を担当すると共にポンプ車操法披露しています。そのため、安行分署にて署員の方々の協力を頂きながら10日間前後、夜間に訓練をしています。

団員の団結と意思高揚のため、訓練の他に年1回の視察研修旅行をしています。これからも地域の安全・安心を守り、任務を遂行するため、お互いに声をかけ、助け合いながら結束して全員で訓練に取り組んでまいります。

第8支団第2分団 分団長 田中 賢司

第2分団は、安行地区北西部を主に活動しています。埼玉県花と緑の振興センターを中心とした市街化調整区域の畑地帯と首都高川口線、外環道の2本の高速道路沿線に広がる新興住宅地や倉庫、物流センター等が多い区域を担当しています。

人や車の出入りが多い地域なので多様な災害に備えて団員一丸となって日々訓練しております。



支団車庫紹介 どんな設備や装備があるのかな? 第7支団第1分団 班長 富沢真治

第1分団の車庫は芝川に架かる地藏橋の袂にあります。

築29年鉄骨サイディングコロニアル葺2階建てで、1階はポンプ車の車庫と物置、トイレがあり、2階には詰め所、給湯室、物置、トイレがあります。

駐車場は3台程あります。

交差点角に建っている所以車両の出入りには注意が必要です。



第7支団2分団 分団長 三浦 更

7-2分団は、支団長はじめ13名で第7支団のうち、主に石神・赤芝・赤山・木曾呂・東内野・源左衛門新田が担当地区です。7-2消防団車庫は、外環道路と122号線の交差しているジャンクションの北側五百メートル程の県道沿いに位置しています。

旧車庫は、木造二階建ての車庫で道路に面して建てられていました。平成六年に鉄骨造二階建てに新築された時に駐車場も広がり、二十メートルホースが伸ばして洗えて、ホース干場、耐震性貯水槽も新しく設置されて現在に至っています。

毎月の支団役員会は4分団が集まり、20名程で車庫二階の和室を利用して行っております。トイレと給湯室が備えて有りますので、長時間の会議でも不便は感じませんし、分団同志のコミュニケーションが計れると感じています。



第7支団3分団 副分団長 仁科 正

わが3分団は、神根地区の南東部を管轄しております。現車庫は、平成24年4月に埼玉高速鉄道の新井宿駅前に移転し、消防車輛車庫と会議室二部屋から成り立っております。会議室は、地域の人達と共有するという珍しい車庫です。

会議室はバリアフリー使用となっており、身障者対応トイレが設置されている”人に優しい”構造となっております。

駐車場も広く、20台程停める事が出来ます。消防団と地域とのコミュニケーションを大切にした車庫です。



第7支団第4分団 班長 森 信二

私たちの所属する第4分団は神根地区北西部に位置しており、櫻井分団長の下7名が在籍しています。分団車庫は木曾呂小学校の正門横に建っており、平日には小学校に通学する児童が、休日には近所の方々が体育館など学校施設を利用する元気な声が響いて来ます。

車庫は木造2階建て築36年経過しており、今では珍しいポットトイレを完備しています。

10数年前までは軽車両型の消防自動車と大八車型の人力ポンプ車が置いてありましたが、車両更新を機にスペース確保のため大八車を撤去しました。また、近所には市内でも珍しい乗馬クラブハウスが有り、騎手か馬術練習をする姿を見かけます。その中で我々分団では消防ポンプ車などの操法訓練等に日々精進しております。



川口神社おかめ市 消防特別警戒

第1支団第1分団 班長 井口 直也

去る12月15日に川口神社でおかめ市が開催されました。川口駅東口から川口神社までの約1キロに露店がずらりと並び、ピーク時は歩けないほどの混雑ぶりでした。第1支団では大鳥居近くに警戒本部テントを設置し、おかめ市の巡回警備にあたりました。



毎年恒例の鳩ヶ谷のおかめ市が、天皇誕生日の 12 月 23 日に氷川神社を中心に、交通規制された日光御成道鳩ヶ谷宿にて執り行われました。暮も押迫る中、比較的天候も穏やかで、小春日和の陽気に例年より人出が多く感じられます。いつも通り、第 10 支団はメインとなる街道の坂上の車庫で、第 11 支団は、坂下の鳩ヶ谷分署に詰めながら、任務に当たりました。金子団長はじめ、団本部も警備の交代式を済ませ、賑やかな市の巡回を致しました。多くの裏方の協力もあり、今年も無事に終わることができ、節目となる平成 30 年の新年を迎える準備ができました。



第 11 支団 ～鳩ヶ谷時代からの伝統を誇りに～

第 11 支団第 3 分団 分団長 加藤 和寛

我 11 支団は鳩ヶ谷地区の南側半分を担当しています。私が入団した昭和末期頃は、特に年功序列が厳しく、またそれには理由がありました。当時鳩ヶ谷という小さい行政ながら、火災や災害に立ち向かうためには、まずは指揮命令系統がハッキリしなければいけなかったからです。ただ当時、諸先輩に言われたのは、「皆社会人なのだから、先輩後輩関係なく



、〇〇さんと呼びなさい」という事でした。それは人として優劣なく団員を尊重しなさいということ、最近では乱れがちですが、私はいまだにそれを心得ながら団活動に取り組んでします。我が分団の加藤耕誠部長ともよく話すのですが、最近は団員確保が難しく、会社員も多くなり、地元の古い馴れ合い関係とはいかないように思えます。しかしちょっとやると、例えば「俺は忙しいから、早くしてくれ」だの言って下から突き上げることは、一見して正論で真面目に見えるのですが、それらの煽り方は、相手任せで自分への責任回避、個人的な価値観の要求では、協調性も薄れ、指揮命令系統も乱れます。結局のところ、それをボランティア精神と言えるのでしょうか？「俺はこんなにやっている」「自分だけがやらされている」「自分は一生懸命と色々やっているのに、あいつはあの程度」といったような虚栄心や自己顕示欲を消防に求めているにすぎません。ボランティアは他人に求めるのではなく、やれる人が任されたことを精一杯やる、できない人があれば、やれる人が替わって役目を果たせばいい。幸い我が支団は、「私がします」と自ら快く手を上げ、任せたことに責任をもって動いてくれる団員が多くいるので助かっています。皆、役割と能力は人それぞれ、自己評価だけが高いことが問題となります。

先日、加藤部長が成人式の団 PR 活動から帰ってきて、「金子団長が、弁当の空箱の乱れを団員に指示するのではなく、団長自らきちんと整理されていました。気が付きながら替われずに固まってしまった自分が居て、申し訳なく思いました」と報告がありました。私のみならず、団員は先輩の正しい後姿を見て、それに感銘を受けながら成長します。合併後も、ここではまだまだ学ぶべきことが、多いことに気付かされました。



正月気分もまだ抜けきらない 1 月 8 日、「はたちの集い」が盛大に行われました。毎年のごとく我々消防団も、メイン会場となるリリアの前の広場に於いて、金子団長をはじめとして、団の PR 活動のために、アンケートと肉まん・あんまん配布を致しました。心配された天気も、PR をしている午前中はなんとかもち、周りは若さで弾けています。奥ノ木市長も振袖新成人に囲まれ、団のブースも盛り上がっていました。隣のオートレースブースでは、例年通り矢部美穂さんがマイクを握って PR。矢部さんが「お隣では消防団さんのアンケートに答えてくれると、肉まん・あんまんが貰えますよ」と熱心に言ってくださったお陰か？将又、団長副団長自ら笑顔で、新成人を引き込んで頂いたお陰か？用意されていた肉まんが、いつもより早く無くなりました。今年度、新たに川口で成人した人は 5,900 人余り、そのうち 3,000 人を超える新成人がリリアを埋め尽くしました。自分の足元がきちんと固まっていなければ、消防団のようなボランティア活動はできません。ここにいる多くの若人が、我々と共に、地元消防活動ができる大人へと成長して頂けることを期待します。おめでとうございます！



.....

【編集後記】

第 2 支団第 1 分団 班長 横田 由起

今回の団ネットはいかがだったでしょうか？

私事となりますが…任期の途中ですが、前号の団ネットから第二支団の広報担当となりました。女性消防団員発足時より属していますが、広報委員としては新米です。

支団や団員の活動を分かりやすく伝えられたらと思いますので、原稿依頼の協力や理解のほど、宜しくお願い致します。

次号は 3 月下旬 発行予定です

